



馬房では2歳の女の子という感じで可愛らしいグレースオブナイル

小島友実の あの馬の STORY



グレースオブナイル

かつて自分が一口お皿にいた馬の子供や弟妹に出資する。これがアーライフの楽しみ方の一つですね。グレースオブナイルの母は以前グリーンファーム所属し、小倉2歳ステークスを制したジエールオブナイル。ワシックに出走した半姉のゴーリードケープやクラフ所所属馬でしたから、母姉同様にグレースオブナイルを応援している方は多いと想います。

「この馬を初めて見たのは一歳の夏頃です。小柄ながら見た田が整ってて、動きが軽く、いかにもおのの短い距離向きの馬といつ印象を受けました。重賞勝ち馬の子供を預かりせて頂く事になり、とても光栄に感じましたね」

以下語るのは管理する杉山晴紀調教師。グレースオブナイルは今年4月中旬に東京トレセンへ入厩。この時期に入厩できた事が順調さを物語っています。

「学習能力が高く馬でゲート試験は一度目で合格。母が夏の小倉で活躍しましたが、グレースオブナイルはその前の東京でデビューもして良い状態で夏の小倉に向かう事を想定していました。1200m向かいと想っていましたが、入厩してからの動きには良さ意識で遊びがあり、初戦から1-200mを使つむじいい競馬を強いてしまった感じしました。それで1-600mで始動してみた事になりました」

そのデビュー戦となりた6月30日の中京競馬場。結果は4着でした。

「気持ちは余裕があったのですが、ボツと行くイメージはなかったのですが、ゲートを出たりマイペースで逃げる形。セントのある走りを見せてくれました。一度レースを経験し、次の小倉1-200mへ向けて理

想的な内面が一回ありました。馬の子供や弟妹に出資する。これがアーライフの楽しみ方の一つですね。グレースオブナイルの母は以前グリーンファーム所属し、小倉2歳ステークスを制したジエールオブナイル。ワシックに出走した半姉のゴーリードケープやクラフ所所属馬でしたから、母姉同様にグレースオブナイルを応援している方は多いと想います。

「この馬の時はスタートが良くなくて後方がいい。それでも直線だけで追い込んでら走る。上がり3ハロンタイプは勝てる馬と同じでしたから、やはり勝てる能力を持つてないと感じましたね。3戦目は条件の合の小倉で良い競馬をしてほしい思いがあり、中1週での遠征を判断したのですが12歳減つてしましました。田に見えない疲れがあったのかかもしれません」

この後、放牧で英気を養い、10月中旬に帰厩。11月初めにトレセンを訪ね、グレースオブナイルに会つました。担当する的是石松健司厩務員です。

「扱いて苦労あるといわれながらですが、まだ2歳の女の子との感じで馬房ではあまり落ち着かないタイプ。しかし、これは飼葉を食べ終わつてお腹が一杯の時だけです(笑)。飼葉ですか? 最初の頃はあまり食べなかったので馬房に飼葉桶を数ヶ所置いてあげて、いつも食べられるようにしてあげています。だから最近はきちんと食べてくれていますね。普段の調教では騎手が乗ると速いといふを乗られることが多いです。走りだすと大丈夫になりますね」

「走りだすと大丈夫になりますね」

この順応性がある点を杉山調教師も高く評価しています。

「ものわかりが良く、眞面目なところが

つかれていておかしく力をつけている。今回の休養はアラバストで過ごして、良い手応えで次に迎えますよ」

初戦から3戦手綱をひいた松若風馬

騎手からの現状では平坦の一戦目が合つ」というアドバイスもあり、4戦目は11月9日の京都芝1-400mで、「スタートを決めて流れに乗つて3着でした。

「上手な競馬が出来ていきました。レース後はテンションも飼葉食いも問題ありません。京都の方が良いタイプなので、11月23日の牝馬限定芝1-400mに向けて調整したいと思います」

杉山調教師がグリーンファームの馬を預かるのはこの馬が初めて。それだけに、

氣合いで入っています。

「今秋で開業して丸3年が経ちました。歴史の浅い厩舎で重賞勝ち馬の子供を預けて下されたのは期待を頑としているからだと思います。その期待にお応えしてですね。グレースオブナイルは非凡な面があのものの力をつけてきてね、経験を重ねれば上のクラスへ行ける馬です。現状は1-200m~1-400m前後がベストでしそうですが、調教時計もぐるようにならないで、マイペースで走るのも可いですね。早い初勝利を挙げて、チャンスがあれば桜花賞を目指したいですね」

「デビューして4戦かばべて掲示板内と

いう成績は能力があるからこそ。母や姉の母であるグリーンファームのバードックを歩くグレースオブナイルが見られる日を楽しみにしたのですね。

(取材・11月5日・13日)

がつていておかしく力をつけている。今回の休養はアラバストで過ごして、良い手応えで次に迎えますよ」

初戦から3戦手綱をひいた松若風馬

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（王婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。

profile